

特別シンポジウム 追悼 波多野誼余夫氏

波多野誼余夫氏は、2006年1月13日、肺炎のため死去された。日本認知科学会にとっ
てだけでなく、日本のさまざまな認知研究分野、さらには世界的な認知研究者のネット
ワークにとって、かけがえのない人を失った。その痛手から立ち直り、波多野氏が存命
であれば続けられたであろう「その先の仕事」をどう引き受けてゆくのかを考えるために、
追悼シンポジウムを企画する。波多野氏は、人の認知活動のリアリティから離れること
なくその真髄を追及し続けた。氏の仕事を振り返り、これからの認知科学の発展の方向
を探る集まりとしたい。

司会 三宅なほみ

追悼 乾 敏郎
橋田 浩一
三宅 芳雄
Stella Vosniadou
Michael Cole (video)

認知科学会関連 波多野誼余夫氏文献一覧

波多野 誼余夫 (1988). 「珠算式暗算における習熟：定型的熟達化の一事例」 『認知科学の発
展』 第1巻 講談社 pp.141-160.

上記に収められた自己紹介：発達心理学者、認知科学者。熟達化を研究テーマとし、なかでも
everyday & school biology, mental abacus operation, reading & literacy development,
social interaction & motivation for comprehension について精力的に実験を行っている。
留学経験のない「国際派」で、執筆の大半は英文。

波多野 誼余夫 (1990). 「認知科学の研究対象としての科学的知識」 『認知科学の発展』 第2
巻 講談社 p.137-153.

三宅 なほみ・波多野 誼余夫 (1991) 「日常的認知活動の社会文化的制約」 『認知科学の発
展』 第4巻 講談社 p.105-131.

波多野 誼余夫・稲垣 佳世子(1987) 『翻訳における算出と理解』 日本認知科学会テクニカルレ
ポート No.4

稲垣 佳世子・波多野 誼余夫 (著・監訳) (2005) 日本認知科学会編 認知科学の探求 『子ども
の概念発達と変化 素朴生物学をめぐって』 共立出版.

監修・編集委員

認知科学ハンドブック 安西・石崎・大津・波多野・溝口編 1991 共立出版
認知科学選書第I期全10巻 戸田・東・波多野・長尾・佐伯編 東京大学出版会
認知科学選書第II期全14巻 戸田・東・波多野・長尾・佐伯・大津・辻井編 同上
認知科学辞典 日本認知科学会編 (編集幹事) 2002 共立出版
認知科学モノグラフ 全13巻 日本認知科学会編 (編集委員) 共立出版